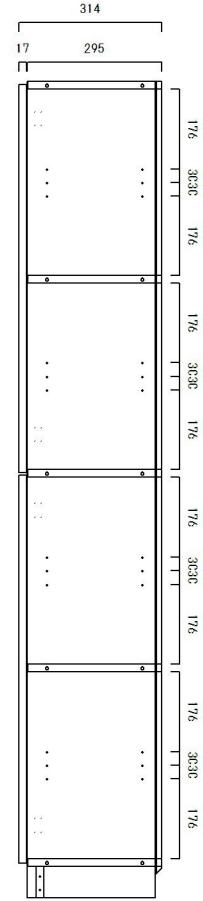
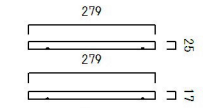
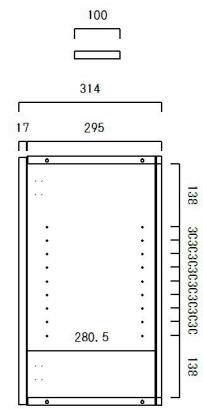
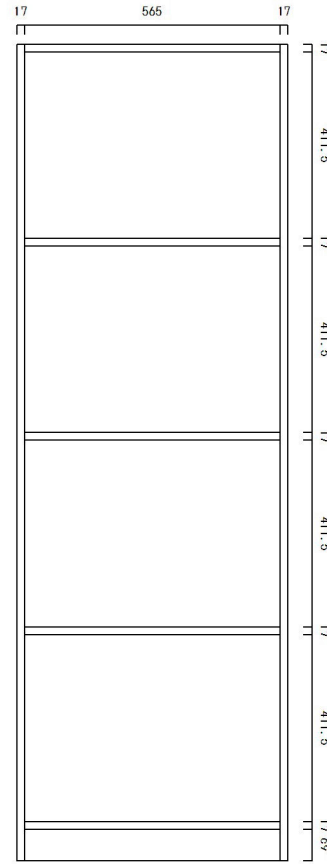
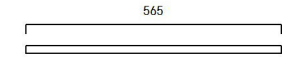
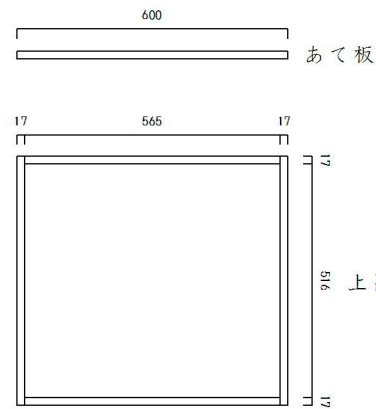


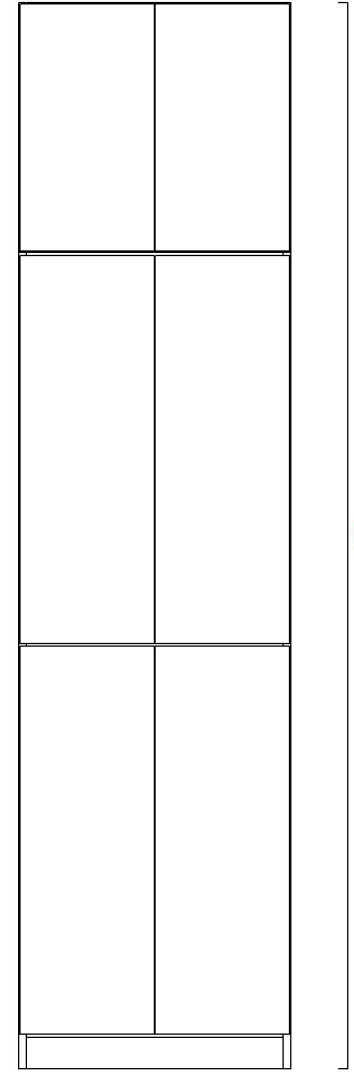
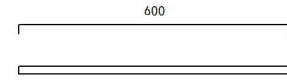
BCM-63



BCM-63T



BCM-63



BCM-63T

あて板

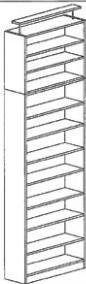
上置

本体

2380

薄型書棚(W-600) オープンタイプ (BCM-60・BCM-63)

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
下記のように組み立ていただきご使用ください。



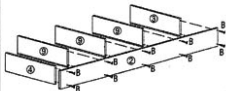
- (注) ① 組み立て前には必ず部品数量をご確認ください。
ビス等、部品が足りない場合は予備の部品をお使いください。
また組み立てる際には、※、商品等に傷がつかないように、
レジャーシート等を敷いて組み立て下さい。
- ② 部材の穴は、それぞれ使用してありますビス及び木ダボのサイズ
に合わせてあげられております。部材の材質により多少かたく感じ
られる箇所もありますが、ビスはかたく締まるまで、木ダボは部材
と部材の間にすきまがでないように組み立ててください。
- ③ ドライバーはビスのヘッドに合ったものをお使いください。
ヘッドの合わないドライバーを使用しますと、ビスが完全に
締まらず破損の原因になるおそれがあります。
またビスは締めすぎますと空回りしてかきかくなる場合があります。
ご注意ください。
- ④ ハンマーをお使いになる場合は、古報紙等をあてその上から
たたいてください。直接たたきますと破損するおそれがあります。



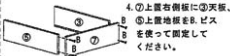
G. 7/16x33-2x75	H. 7/16x18x33
2x75	2x33

部品名	A. ボンド 1個	B. ビス 20本 (+予備 1個)	C. シェイター(小) 4本	D. シェイター(大) 1本	E. 木ダボ 24個 (+予備 1個)	F. 木ダボ 2本
図						

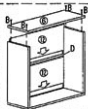
薄型書棚(W-600) オープンタイプ (BCM-60・BCM-63)



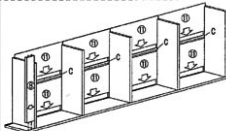
1. ②右側板に③天板、④地板、⑤中棚をB.ビスで固定してください。



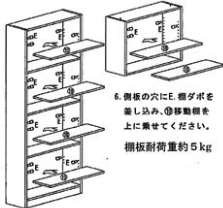
4. ⑦上置右側板に③天板、⑤上置地板をB.ビスを使って固定してください。



5. ⑥背板BをD.77ジャスター(大)でつないで棚のミゾに沿って差し込んでください。
④上置左側板をB.ビスで固定してください。

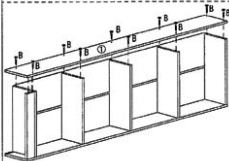


2. ①背板AをC.ジョイナー(小)でつなぎ、棚のミゾに沿って差し込んでください。
側板に⑧台輪をA.ボンドを使って固定してください。

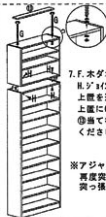


6. 側板の穴にE.楔ダボを差し込み、⑩移動棚を上に乗せてください。

棚板耐荷重約5kg



3. ①左側板をB.ビスで固定してください。



7. F.ホダボを側板の穴に差し込みH.ジョイナーHを使って本体と上置を連結させてください。
上置にG.77ジャスターを取り付け、③当て板を天井に突っ張ってください。

※アジャスターは物を入れてから再度突っ張りなおし、また定期的に突っ張りなおしてください。

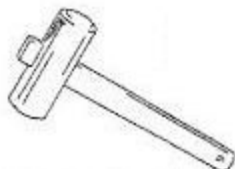
はじめに

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本説明書をお読みいただき、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。
なお、本紙は保管して使用説明等を時々読み返していただき、ご使用ください。

準備する工具



プラスドライバー



木製又はゴム製ハンマー

組み立て上のご注意

- スペースのある場所で組み立ててください。
- 照明器具や床、カーペットにキズを付けないようご注意ください。
- 木製ですので、安全のため手袋を使用されるとより安全です。
- ビスを止める時は最初はゆるく組み立て、完成後にビスを強く締めてください。
- 組み立てる際、指を挟まないようご注意ください。
- ボンドを使用する際は風通しの良い場所で組み立てるようにしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください。
- 組み立ては必ず水平な場所で行ってください。

使用上のご注意



- 本製品は収納を目的とした商品ですので、それ以外の用途でのご使用はなさないでください。
- 危険ですので傾いた所でのご使用はなさないでください。
- 火気の近くでのご使用は危険ですのでおやめください。
- 片寄った荷重や耐荷重以上の重い物を乗せないでください。
- ネジがゆるむことがあります。時々締めなおしてください。
- 各ビスに合ったプラスドライバーをご使用ください
そのまま使用すると大変危険です。
- 無理に製品をひっぱったりすると床等にキズを付けますので
お取扱いには充分にご注意ください。
- プッシュ式の扉の商品はマグネット・ラッチの近くを押して、扉を開閉してください。
- アジャスターが付いている場合、定期的にはゆるんでないか点検し、
ゆるみはじめたらしっかりしめ直してください。ゆるんだまま使っていると
家具が転倒して、ケガをすることがあります。